	端数を四捨五入する。）をいう。） C　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、負数となるときは 0 とする。） 算式Ⅲ c ≧ 0 のとき C ＝－ 0.04 × c ＋ 0.1 c ＜ 0 のとき C ＝－ 0.13 × c ＋ 0.1 算式Ⅲの符号 c　令和元年から令和 3 年までの各年における人口増減率（住民基本台帳関係年報における当該都道府県の区域内の市町村に係る「市町村別住民票記載、消除数」の表頭「増減数」の欄の数の合計数を当該都道府県の住民基本台帳登載人口で除して得た数に 1,000 を乗じて得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）をいう。）の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） D　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とする。） 算式Ⅳ D ＝ d ／ 0.119 算式Ⅳの符号 d　令和 4 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率（当該都道府県の住民基本台帳登載人口のうち 15 歳未満の者の数を当該都道府県の住民基本台帳登載人口で除して得た数（小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）をいう。） E　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とする。） 算式Ⅴ E ＝ e ／ 7.1 算式Ⅴの符号 e　人口動態統計における平成 29 年から令和 3 年までの各年における出生率の合計数を 5 で除して得た数（小数点以下 1 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）
市町村	算式 (0.25 × A ＋ 0.25 × B ＋ 0.25 × C ＋ 0.125 × D ＋ 0.125 × E) × α ×